


PLAY PUBLIC PLACE

旧新潟駅前通プレイ・ストリート

2022.10.29 (土) — 10.30 (日) 

29日 11:00～21:00 30日 10:00～18:30 場所:旧新潟駅前通 流作場五差路～弁天公園

旧新潟駅前通公共空間利活用社会実験

主催:新潟市 後援:新潟駅前弁天通商店街振興組合、万代シティ商店街振興組合、駅前町親和会 問い合わせ先:新潟市都市政策部
協力:新潟公務員法律専門学校、一般社団法人新潟市造園建設業協会、株式会社桑野写真館、新潟日産モーター株式会社 TEL 025-226-2696

-目次-

- 1. 社会実験の企画概要**
- 2. 社会実験の当日の様子**
- 3. 社会実験の検証結果**
- 4. 社会実験のまとめ**

1. 社会実験の企画概要

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施概要

旧新潟駅前通プレイ・ストリートとは

旧新潟駅前通のリニューアルを見据え、道路の一部を車の空間から人にとって居心地よい空間に変え、将来の旧新潟駅前通の姿を広く利用者に考えてもらうことを目的に実施した道路利活用社会実験

【期間】

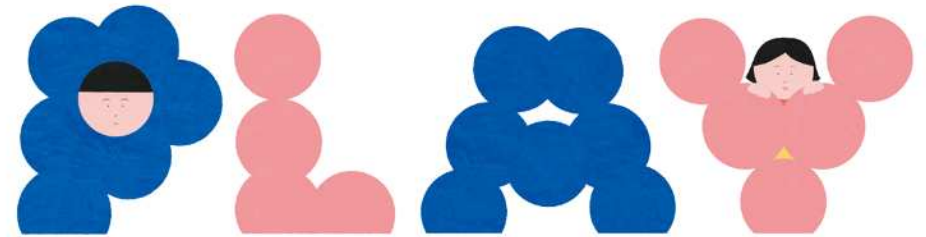
令和4年10月29日（土）・30日（日）

【場所】

旧新潟駅前通周辺（流作場五差路～弁天公園）

【内容】

- 旧新潟駅前通で車両通行止を行い、テーブルやベンチ、人工芝、植栽等を設置し、居心地よく滞在できる空間を創出
- 既存の駐輪場を移設し、広場空間を創出
- 旧新潟駅前通の歴史や現在の取組のパネル展示
- 近隣飲食店の参加によるストリートマーケットを開催
- 近隣飲食店によるテイクアウト企画を実施



PLAY PUBLIC PLACE 旧新潟駅前通プレイ・ストリート



交通規制範囲



目的

歩道空間を拡幅した場合の使い方を実践し、その影響や課題を整理する。

【検証項目】

① シェアードストリートを想定した動線変更による影響

- ▶ ゲートカウント調査による周辺の歩行者交通量の変化等を分析
- ▶ 動線調査による利活用空間と歩行者動線の関係を分析

② 将来の利活用の練習

- ▶ 利活用の練習としてストリートマーケットを実施し、運営の課題を把握
- ▶ アクティビティ調査等を行い、利用者の属性や行動状況を観察
- ▶ アンケート調査にて、利用者の意向や社会実験に対する意見収集

③ 旧新潟駅前通の発信機会の創出

- ▶ 情報発信の展示を行い、これまでの取り組みや旧新潟駅前通のリニューアルをPR

旧新潟駅前通 プレイ・ストリート

新潟市では、「にいがた2km」において人に優しく歩いて楽しい「ウォーカブルな空間づくり」を推進しています。旧新潟駅前通周辺では、これまで将来的な道路空間づくりに向けた社会実験などを実施してきましたが、今年度から旧新潟駅前通のリニューアルを見据え、エリアの魅力と価値を向上させるような将来の道路のあり方や利活用などストリートデザインについて検討を進めています。

「旧新潟駅前通プレイ・ストリート」

は、車の空間から、座れる場所や憩える空間など人にとって居心地よい空間に変える社会実験として、



旧新潟駅前通周辺の将来の姿を広く皆様から考えていただくことを目的に実施します。是非この機会に、いつもと違った旧新潟駅前通で、近隣のお店のストリートマーケットや、テイクアウト企画、ライブイベント等でお楽しみください♪

PLAY PUBLIC PLACE とは？

「PLAY PUBLIC PLACE」は、令和4年度に「にいがた2km」で展開する公共空間利活用プロジェクトの名称です。公共空間を楽しく積極的に活用しながら、人中心のウォーカブルなまちづくりに取り組んでいきましょう。



旧新潟駅前通のリニューアルに向けた検討を行っています！

現在、将来の旧新潟駅前通のリニューアルに向けて、有識者の方や地域の方等と検討を進めています。今回の社会実験で、将来の人中心の空間づくりや道路の利活用をご一緒に考えていきましょう！

新潟駅・万代地区周辺 将来ビジョン懇談会

新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの中でも、旧新潟駅前通は憩える場をつつていく重要な通りとして位置付けられています。



旧新潟駅前通 オープンミーティング

旧新潟駅前通のリニューアルに向けて、地域の方々や意見交換を行いました。第2回を11月に予定しています！



利用時のお願い

- ・ご利用の際は、人との間隔をあげ、感染対策へのご協力をお願いいたします。体調が悪い場合のご利用は、ご遠慮ください。
- ・こまめに手洗いや消毒へのご協力をお願いいたします。

交通規制のお知らせ

- ・旧新潟駅前通は、社会実験の実施期間中、一部通行止めとなります。
- ・市道南2-51号線は10月28日～10月30日まで車両通行止めです。
- ・弁天仮設自転車等駐車場は一部ご利用できません。
(期間:10月28日～10月30日)



旧新潟駅前通プレイ・ストリートの平面計画 (10/29)

- : 誘導ブロック (300×300)
- : 駐輪スペース (1900×600)
- : 木製ユーロパレットカウンター (1200×800×144)
- : 木製ユーロスリムパレットベンチ (1200×470×144)
- : 単管バリケード (2000)
- : H鋼ガードレール
- ⊕ : テーブルベンチ
- : サイン機能
- : テント (飲食・物販) (3000×3000)
- : テント (本部) (2500×2500)
- : クッション (500×500)
- : 造作什器
- : プランター
- : マスキングテープ
- : 三角屋台
- : 三角看板
- : サイン看板



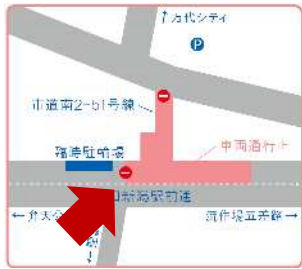
旧新潟駅前通プレイ・ストリートの平面計画 (10/30)

- : 誘導ブロック (300×300)
- : 駐輪スペース (1900×600)
- : 木製ユーロパレットカウンター (1200×800×144)
- : 木製ユーロスリムパレットベンチ (1200×470×144)
- | — : 単管バリケード (2000)
- : H鋼ガードレール
- ⊕ : テーブルベンチ
- : サイン機能
- : テント (本部) (2500×2500)
- : クッション (500×500)
- : 造作什器
- : プランター
- ▨ : マスキングテープ
- ▨ : 三角屋台
- : 三角看板
- : サイン看板



2. 社会実験の当日の様子

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



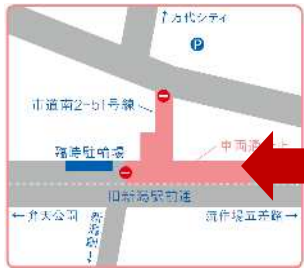
パレット広場ゾーン（左）とプレイ旧新潟駅前通ゾーン（右）

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



プレイ旧新潟駅前通ゾーン（手前）と沿道活用された狭小市道（右）

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



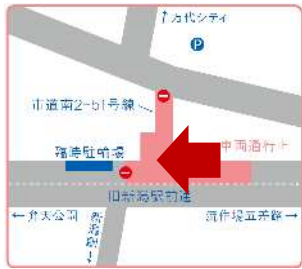
ストリートマーケットの開催（奥）と芝生でのモルック体験（手前）

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



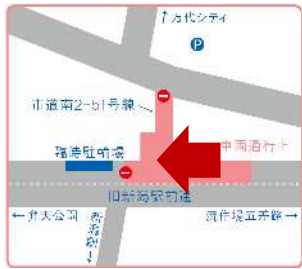
歩車道の一体的なデザイン／ストリートマーケットの開催（7店舗）

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



旧新潟駅前通の歴史やこれまでの取り組みを紹介するパネル展示

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



旧新潟駅前通の歴史

実は今の新潟駅は3代目で、初代と2代目の旧駅舎は、現在の弁天公園付近にありました。つまり、旧新潟駅前通(流作場五差路～弁天公園)は、駅へのアクセス道路だったのです。新潟駅と万代橋周辺は、かつて信濃川の中洲で「流作場」という島でした。辺り一帯は芦が生茂る沼田でしたが、明治初期に流作場に萬代橋がかけられ、新潟駅が誕生。人が移り住み、店が立ち並び、大きく躍動する新潟市を支える拠点に変貌していきます。

写真提供：株式会社桑野写真館
取材・作成：NPO法人まちづくり学校

大正13年新潟市全図

昭和35年(1960)と43年(1968)の住所表示変更後、流作場という地名は一部を除いて使われなくなりました。流作場五差路の歩道橋などで見ることができます。



48年前の旧新潟駅前通

桑野さんがセサニに乗って撮影



昭和33年3代目新潟駅(模型)

新潟鉄道管理局(旧国鉄)が発行した開業当時の新潟駅パンフレットより、駅周辺機型の写真。現在の流作場五差路は「三叉路」と記されています。

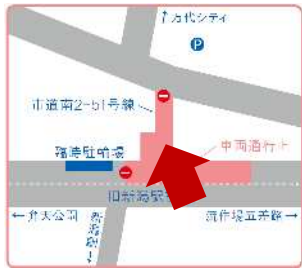


通りの変遷を見つめてきた桑野写真館

「今の新潟駅が開業した頃は、いろんなお店がありましたよ」と記憶をたどる桑野勤彦さん(82歳)。「まんじゅう屋、洋品店、牛や馬の蹄鉄を打つ蹄師もいました。長屋がずっとならんで、アイスキャンディーも売っていた。みやげもの屋、酒屋、旅館が3軒並んで、金物屋、食堂、車の部品販売店、ガソリンスタンド、電気屋、八百屋もありましたね」桑野写真館は創業85年。昭和29年(1954)に現在の店舗に移転してから、時代の変遷と共に人の流れが変わり、沿道の店が減って、桑野写真館はいつしか昭和から続く貴重な店です。「ここにしかないエネルギーとスピリットを、若い世代に伝えることで何かがな

旧新潟駅前通の歴史やこれまでの取り組みを紹介するパネル展示

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



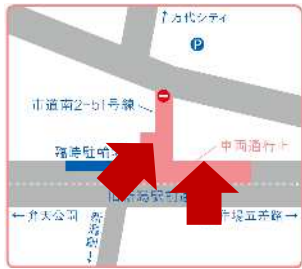
沿道と連携した道路空間利活用

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



沿道店舗による音楽イベント

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



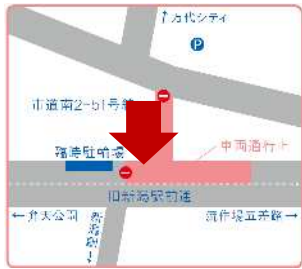
人工芝・パラソルの設置

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



EVカーによる電気供給

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



グラフィックサインや空間デザインの統一

旧新潟駅前通プレイ・ストリートの実施報告



マスキングテープによる路面グラフィックのデザイン

3. 社会実験の検証結果

目的

歩道空間を拡幅した場合の使い方を実践し、その影響や課題を整理する。

検証項目

検証結果概要

1

シェアードストリートを想定した動線変更による影響

歩行者交通量：近隣周辺での他イベントの影響もあり、平常時の1時間平均より**両日とも約3倍～5倍に増加した。**
歩行者動線：車道上に歩行者動線が一定数認められ、**歩車道にまんべんなく歩行者動線が分布している。**また、**路面の設えによって歩行者の行動が変容している様子**が認められた。

2

将来の利活用の練習

出展者売上げ：平均約22,000円。人件費や原価等を考慮すると、**客単価やニーズの把握が今後の課題**となった。
滞留行動：**テーブル・チェア、造作ベンチ等を設置**することで、イベント等の滞留空間が創出され、**にぎわいがにじみだしていた。**
居心地の評価：「**とても居心地が良い**」「**居心地が良い**」合わせて**84%の評価**を得た。

3

旧新潟駅前通の発信機会の創出

広報の効果：**これまでの社会実験などを通して、旧新潟駅前通のリニューアルについては、事前に知っていた人が3割であった。**
「たまたま通りかかった」利用客が最も多かったが、WEBやSNS等の発信により取り組みを知った人のほうが多く、万代や万代島エリアへ遊びに来た利用者が社会実験にも足を止めており、**社会実験による一定の広報効果**が認められる。

検証項目1：シェアードストリートを想定した動線変更による影響

検証項目	検証メニュー
1 シェアードストリート を想定した動線変更による影響	▶ゲートカウント調査による周辺の歩行者交通量の変化等を分析 ▶動線調査による利活用空間と歩行者動線の関係を分析

ゲートカウント調査

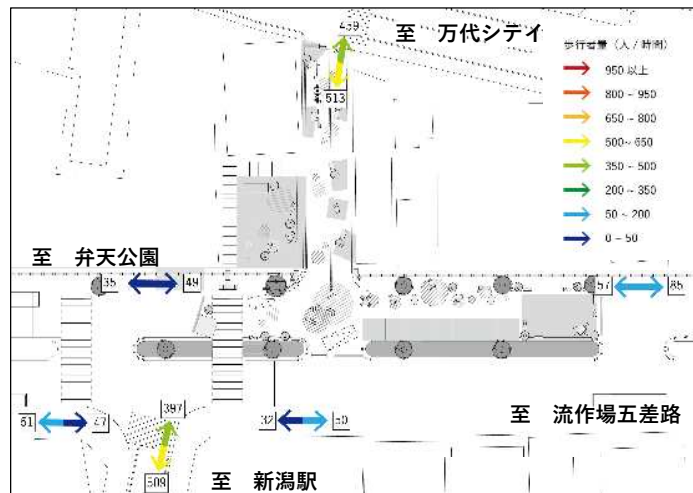
周辺の交通量調査による歩行者動線状況把握

狙い

弁天ルートの歩行者動線がどのように通行するかの状況や、旧新潟駅前通の通行状況の把握により、交差点部の歩行者動線のあり方を検証する。

検証手法

社会実験エリア周辺の歩行者交通量調査により、交通量のバランス等を確認し、将来の歩行者動線計画に役立てる。



動線調査

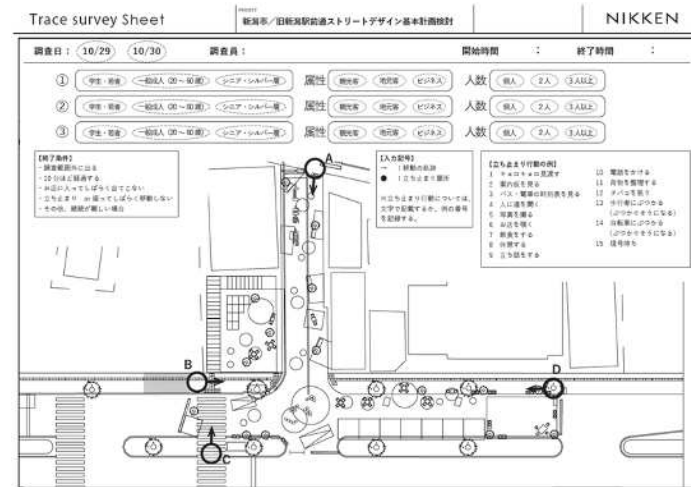
動線調査等による交差点空間の使い方検証

狙い

駐輪場の利活用や、狭小市道でのイベントの影響等を踏まえて、歩行者がどの動線を多く通っていたかを把握し、滞留空間と歩行者動線の状況を把握する。

検証手法

イベント状況や、歩行者動線や立ち止まり行動を把握し、歩行者動線計画と利活用空間の状況を整理する。

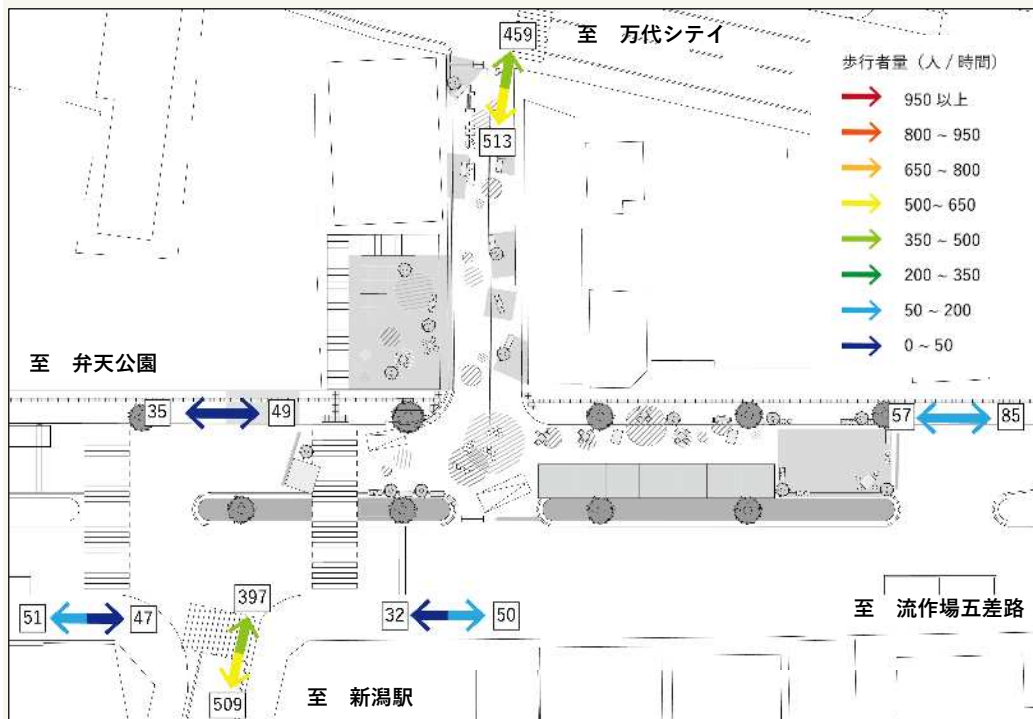


検証項目1：シェアードストリートを想定した動線変更による影響

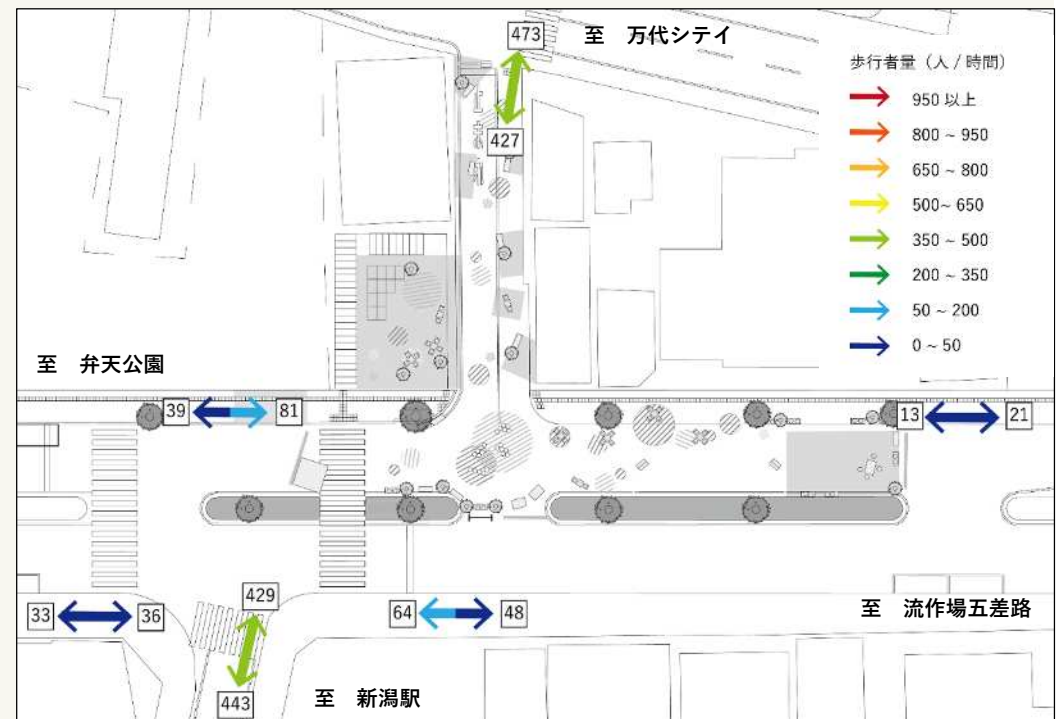
検証項目	検証メニュー
1 シェアードストリート を想定した動線変更による影響	▶ゲートカウント調査による周辺の歩行者交通量の変化等を分析

歩行者交通量の分布の変化

- 近隣周辺での他イベント、天候の影響もあり、29日のほうが全体的に歩行者交通量が多い。旧新潟駅前通の断面歩行者交通量も29日のほうが多くなっている。
- 旧新潟駅前通の歩行者交通量は、平常時の1時間平均よりも両日とも3倍～5倍ほど多い。
(平常時 (R3) の時間平均は 弁天公園側の両側歩道で約61人/時、流作場五差路側の両側歩道で約47人/時)



天候：曇りのち小雨



天候：曇り時々雨

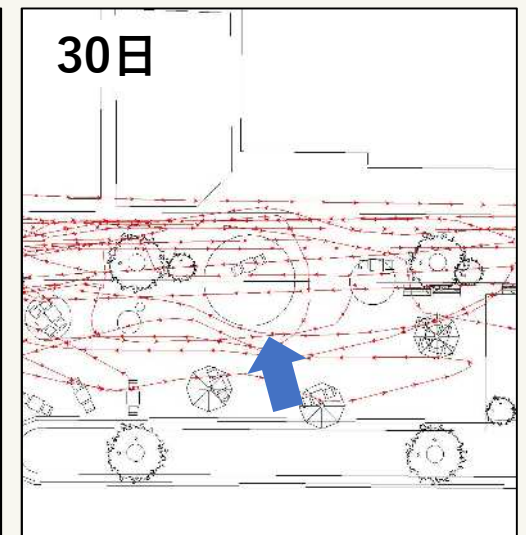
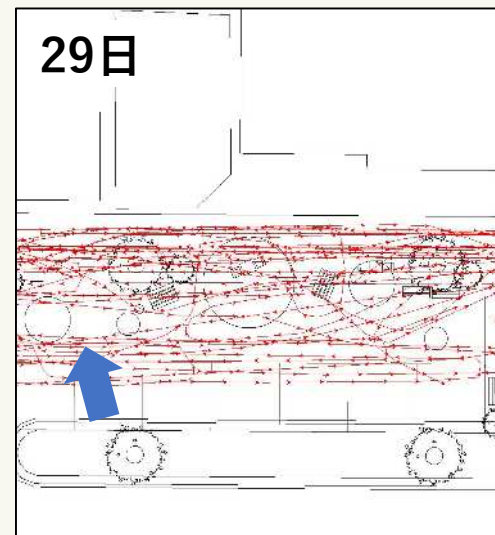
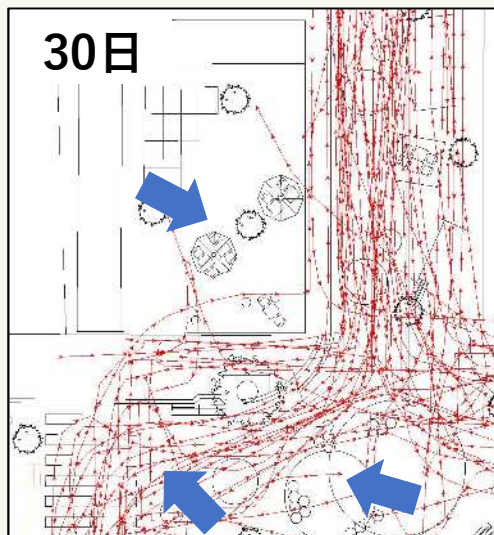
検証項目1：シェアードストリートを想定した動線変更による影響

検証項目	検証メニュー
1 シェアードストリート を想定した動線変更による影響	▶動線調査による利活用空間と歩行者動線の関係を分析

歩行者の軌跡からみる大きな空間の使われ方や特徴

パレット広場ゾーン

ストリートマーケットゾーン



- 両日ともに、車道を通る動線が一定数見られる。
→路面の設えや取り組みパネルベンチ等の什器や、展示車等の車道上でのアクティビティによって、歩行者動線の車道へのじみだしが発生したと考えられる。
- 弁天ルート上で駐輪場の芝生広場を経由する人はほとんど見られない。
→芝生広場の角にテーブル、椅子があったため、歩行スペースに制限があったと考えられる。

- 円形に貼ったマスキングテープを避けるような動線が見られる。
→路面の設えや舗装のデザインによって、歩行者の行動が変容する可能性が示された。
- 取り組みパネルベンチの間を通過して流作場方向へ抜ける動線はほとんど見られない。
→取り組みパネルベンチが動線の障壁となっていたと考えられ、動線を視覚的に認知できるわかりやすいパネルやサインの掲示、ベンチの設置がよいと考えられる。

検証項目2：将来の利活用の練習

検証項目	検証メニュー
2 将来の利活用の練習	<ul style="list-style-type: none">▶ 利活用の練習としてストリートマーケットを実施し、運営の課題を把握▶ アクティビティ調査等を行い、利用者の属性や行動状況を観察▶ アンケート調査にて、利用者の意向や社会実験に対する意見収集

アクティビティ調査

アクティビティ調査より滞留空間の使われ方を把握

狙い

アクティビティ調査やアンケート調査より、より使われやすかった場所や利用状況の把握を行う。

検証手法

アクティビティ調査の分析により、求められる滞留空間の施設や使われやすい状況を把握する。



アンケート調査

マーケット等のコンテンツの可能性

狙い

コンテンツに対しての運営上の課題や今後の道路計画上での検討事項を洗い出す。

検証手法

憩いの空間、マーケット、展示コンテンツ、子供の遊び場、モルック、音楽イベント等といったコンテンツの視点から、課題を整理する。



検証項目2：将来の利活用の練習

検証項目

検証メニュー

2 将来の利活用の練習

▶利活用の練習としてストリートマーケットを実施し、運営の課題を把握

ストリートマーケットの実施による運営課題

- 売上げの平均は1店舗当たり約22,000円。
 - ▶お酒やおつまみとなるフードよりも軽食等の売れ行きがよかった。
 - ▶人件費や原価等を考慮すると、客単価やニーズの把握が今後の課題となる。
- 空間としては、見通しや店舗の認識のしやすさ、動線とのつながり、テントサイズの考慮等の課題があった。
 - ▶流作場五差路方面へ、人の流れを作り出せなかった。
 - ▶弁天ルート of 歩行者の属性（年齢等）と出店店舗の内容が合っていないなど指摘された。

店舗名	ブース出店時間
パンも大谷	11:00~15:00
新潟料理と旬の食材 だしや	11:30~15:00
新潟餡果子 萬代庵	11:00~18:00
パンとワインと三弥	12:00~20:00
pizzeria da.Ruffo	12:00~21:00
大衆居酒屋おいちょ	13:00~21:00
薪焼きイタリアン FIREPIT	11:00~21:00



検証項目2：将来の利活用の練習

検証項目	検証メニュー
2 将来の利活用の練習	▶ アクティビティ調査等を行い、利用者の属性や行動状況を観察

アクティビティの分布から見る利用者の滞留状況

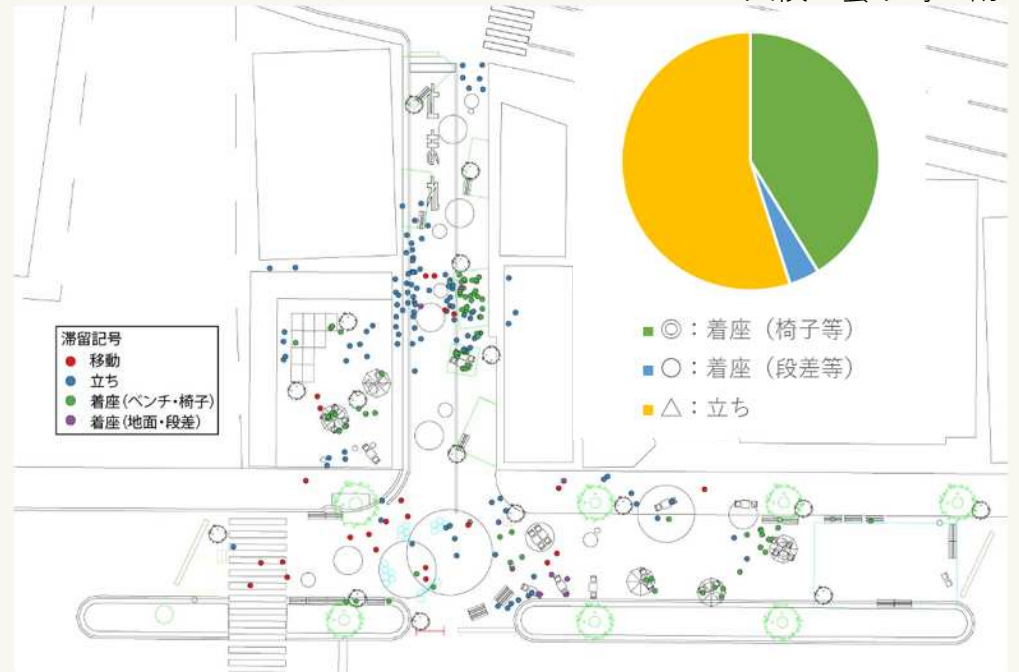
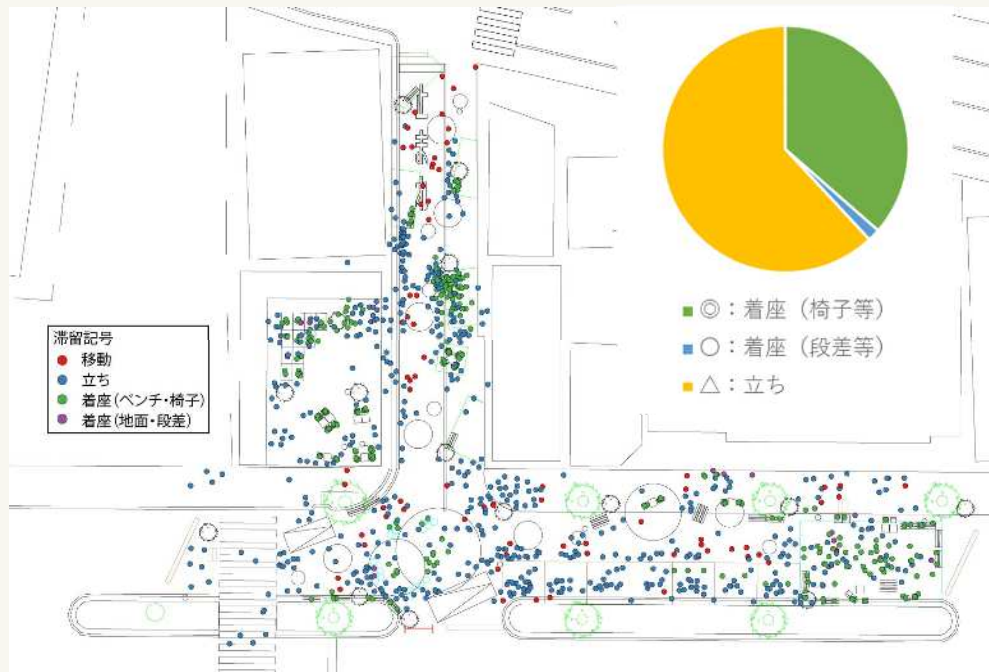
- 29日は、立ち止まっている人も含めて全体的に滞留者が多くなっている。
- 沿道店舗によるイベント等により店先に集まる人と、少し離れたパレット広場で鑑賞する人に分かれていることが読み取れ、**通行空間を挟んでイベントのにぎわいがにじみだしていたことが読み取れる。**
- 30日は雨の影響もあり、着座している人が多く、**パラソルのあるテーブルセットへの着座利用が増えていた。**

29日（土）の滞留者の分布

天候：曇りのち小雨

30日（日）の滞留者の分布

天候：曇り時々雨



※ 着座（段差等）は、段差や縁石などに座る、しゃがんでいる等を指します。

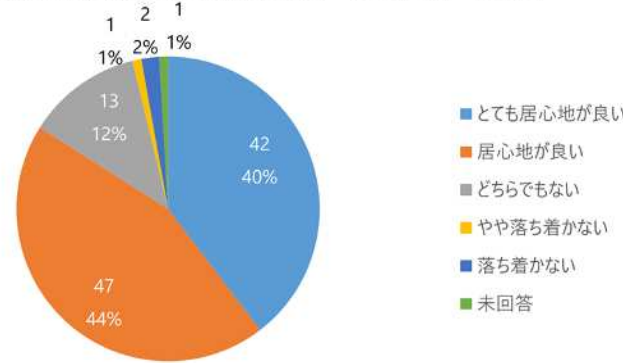
検証項目2：将来の利活用の練習

検証項目	検証メニュー
<p>2 将来の利活用の練習</p>	<p>▶ アンケート調査にて、利用者の意向や社会実験に対する意見収集</p>

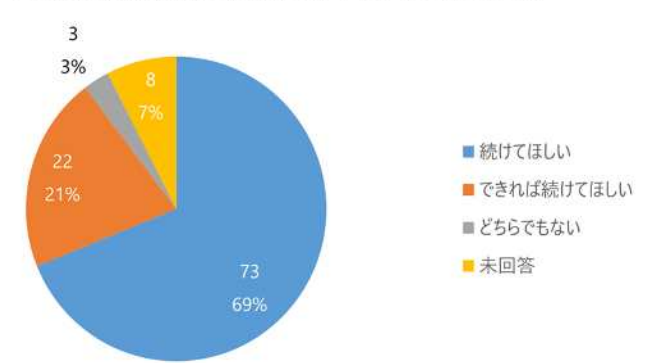
本社会実験に対する印象・感想

- 利用者からは「とても居心地が良い」「居心地が良い」合わせて**84%の評価**を得ている。
- 取り組みの継続については、続けてほしいという**継続意向を示した意見が90%**となった。

8.居心地よく過ごすことができましたか？（1つ選択） n=106



14.この取り組みを続けてほしいですか？（1つ選択） n=106



空間として評価された項目

- 社会実験の中でよかったものとして、**テーブル・チェア、人工芝、造作ベンチ**等の滞留のきっかけになる**什器**に票が集まった。
- 一方で、**取り組みパネル展示**等は票が少なくなっており、**広報の手段**等は**工夫が必要**である。

10.今回の社会実験でよかったものを教えてください。（複数選択可）



検証項目3：旧新潟駅前通の発信機会の創出

検証項目

検証メニュー

3 旧新潟駅前通の発信機会の創出

▶情報発信の展示を行い、これまでの取り組みや旧新潟駅前通のリニューアルをPR

アンケート調査

これまでの取り組みの展示を実施

狙い

これまで数年間の社会実験や新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンなどを総合的に展示することで、本社会実験の意義を発信する。

検証手法

アンケートでの展示の印象について確認し、継続的な発信につなげる



検証項目3：旧新潟駅前通の発信機会の創出

検証項目	検証メニュー
3 旧新潟駅前通の発信機会の創出	▶情報発信の展示を行い、これまでの取り組みや旧新潟駅前通のリニューアルをPR

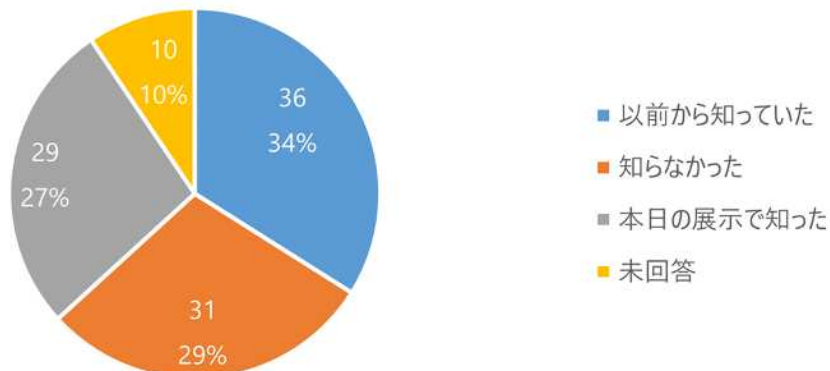
市民に対するアピールや広報効果

- ・これまでの社会実験などを通して、旧新潟駅前通のリニューアルについては、事前を知っていた人が3割であった。
- ・また、27%の人が今回の展示をきっかけにリニューアルについて知ったと回答しており、旧新潟駅前通の歴史やこれまでの社会実験の経緯をお伝えすることができたともいえる。

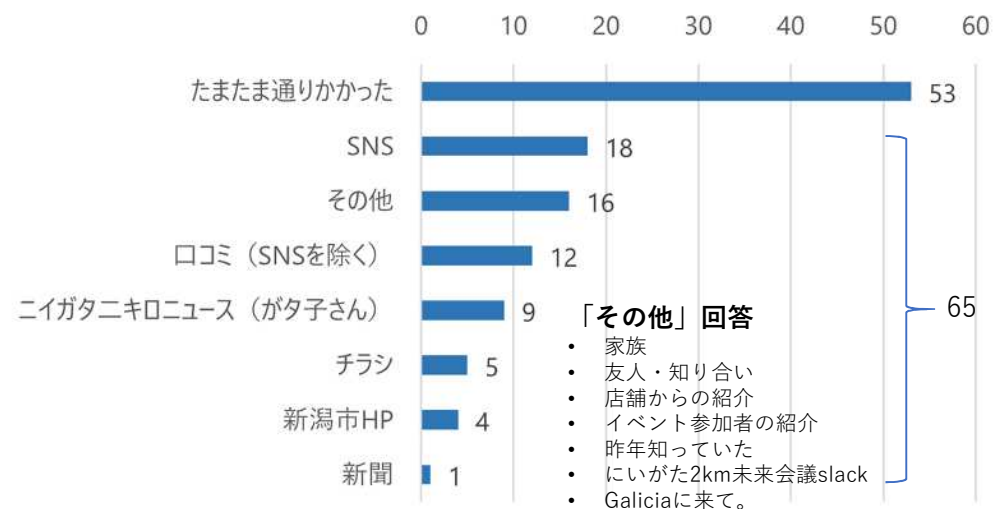
- ・今回の取り組みを知ったきっかけについては、「たまたま通りかかった」の回答が最も多かったが、実際にはSNSやニイガタニクロニュース等のツールから取り組みを知ったきっかけのほうが多かったことがわかる。
⇒WEBやSNS等のツールでの発信期間が短かったが、ツールの方が一定の効果があったと考えられる。

16.旧新潟駅前通のリニューアルについて、事前にご存知でしたか？

(1つ選択) n=106



2.この取組みを何で知りましたか？（複数選択可）



4. 社会実験のまとめ

社会実験のまとめ

検証項目	よかった点	今後の方向性
1	<ul style="list-style-type: none"> ○弁天ルート of 歩行者交通量が多く、ポテンシャルが高いことが改めてわかった。 ○マーケット等の集客コンテンツや、東大通側のサインにより、旧新潟駅前通方向の歩行者通行者数が増えた。 ○歩車道の一体的なデザインによって、将来的な空間イメージや利活用の様子を可視化できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○弁天ルートの歩行者通行動線と滞在空間、沿道店舗による利活用を想定した道路のデザインが必要。 ○歩行者空間を確保する観点から、駐輪場の位置や走行空間の明示など、自転車交通のあり方を検討する必要がある。 ○周辺からの回遊を促すデザインが必要。（サイン、視認性等）
2	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント等との連携により、沿道店舗による利活用の可能性を確認できた。 ○利用した人の8割以上から、「今後も継続してほしい」「居心地よく過ごすことができた」との意見をいただくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日差しや雨天の影響などによる過ごしやすさの変化への対応が課題であった。 ○にぎわいの創出にはマーケットなどの催しも重要な要素であり、多様な活動を可能とする設備が必要。（電源、給排水、照明など）
3	<ul style="list-style-type: none"> ○社会実験や取り組みパネルを通して、旧新潟駅前通の取り組みを知ってもらう情報発信の機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の中には社会実験や旧新潟駅前通での取り組みを知らない人も多く、今後も継続的な広報が求められる。

- ✓ 狭小市道（市道南2-51号線）部分の歩行者通行動線を確保し、歩行者の通行と滞在、沿道利活用などを想定し、全体のバランスを考慮した空間づくりを検討する。
- ✓ 弁天ルートの歩行者が旧新潟駅前通ににじみだすような空間づくり、流作場五差路、弁天公園からの人の流れを作り出す工夫を検討する。
- ✓ 天候への対応や居心地よい空間づくりに資する構造物や樹木、植栽、ベンチやテーブルなどの設えを検討する。
- ✓ 歩行者の属性（年齢等）と出店店舗の内容や客単価、ニーズに合うよう検討する。
- ✓ より多くの利用者に取り組みや情報を伝えるため、広報の充実を図る。